



8/8(木) ぼく達もアーティスト!

「なつやすみ子ども体験教室」が浦添市美術館で行われました。体験教室は、午前の「動物王冠をつくろう」と午後の「宝箱をつくろう」に分かれ、どの教室もたくさん子どもたちが参加しました。

明るく鮮やかな画用紙と和紙を使い、鳥の羽や動物の毛並みを表現した王冠はまるで生きている動物そのもの。子どもたちはお手本を見ながら、表情豊かな動物たちを作りあげていました。宝箱をつくる体験教室では、真剣な表情で絵を描きオリジナルの箱を完成させました。



8/5(月) 浦添市てだこホール新名称決まる

浦添市てだこホールのネーミングライツパートナーが株式会社アイム・ユニバースに決定しました。これにより、てだこホールは2019年10月から「アイム・ユニバース てだこホール」として生まれ変わります。

アイム・ユニバースの藍川CEOは「浦添は“てだこのまち”。世界を明るく照らす太陽(ていだ)は平和を連想する。自社の名前「Aim Universe(世界を目指す)」と関連付けることで、経済的な視点のみならず文化的な側面として浦添から世界に平和を発信することなどに貢献できればと思います」と応募への思いを語りました。



7/30(火) 見据える先は世界、未来のトップアスリート

全国や世界規模の大会において輝かしい成果を残した棟田琳音さん(神森小4年)と宮城杏優菜さん(沖縄尚学高3年)にてだこ市民賞が授与されました。

棟田琳音さんは静岡県で開催された「全日本タンブリング・ダブルミニトランポリン競技選手権大会」10歳以下女子の部で優勝、宮城杏優菜さんは2019年女子柔道のポーランドカデ国際大会(15歳以上、17歳以下)で優勝し今回の授与となりました。

2人の今後の目標は、「オリンピックに出場したい」「9月の世界選手権で優勝する」など、2人とも世界の大舞台を見据え、力強く話しました。



8/17(土) 水とふれあう、水に親しむ

「浦添市市制施行50周年記念プレ事業 うらそえみずまつり～第61回水道週間～」がANA SPORTS PARK浦添で開催されました。

参加者はスタンプラリーで各ブースを楽しく回り、水道部のお仕事紹介の展示物を見たり、職員から水道メーターのことや応急給水拠点の説明を受けていました。市内学童クラブや市外からも多くの人々が来場し、各ブースや屋外プールはにぎわいを見せていました。

参加者からは「災害時の応急給水拠点がわかった」「夏休みの宿題に利用したい」などの声があり、蛇口を回せば当たり前に出てくる水道水について知ってもらおうお祭りとなりました。



8/9(金) 四市交流事業 ～11(日) 少年野球交流大会

ヤクルト球団四市交流事業として、第7回東京ヤクルトスワローズ少年野球交流大会が宮崎県西都市で開催されました。この大会は、ヤクルト球団とヤクルトスワローズに縁のある宮崎県西都市、愛媛県松山市、新潟県燕市、浦添市の四市で幅広い交流を目的とし、その事業の一環として少年野球大会を毎年開催しています。

今大会は浦添市代表として当山ライオンズが参加。結果は4位となってしまいましたが、選手達は全カプレーで野球に取り組みました。試合後は、古墳群で有名な西都市の勾玉作りを体験するなど、他市の子もたちとの交流を楽しんでいました。



8/4(日) 見て触れて学ぶ環境学習講座

夏の環境学習講座の第2回がサンゴ養殖センターとカーミージーで行われました。この講座は身近な自然や暮らしの環境について体験して学ぶ講座で、学習した内容をまとめた「環境学習ノート」は自由研究にも活用できるものとなっています。

カーミージーでは、「カーミージーの海で遊び隊」代表の浪岡光雄さんの説明を聞きながら、生き物たちを観察しました。譜久山美玖さんは「初めてフグの赤ちゃんを見ることができて楽しかった。シャコのパンチはパチンと音がして威力がすごかった」と目を輝かせて話し、生き物が住みきれいな海を守る大切さを学んでいました。



8/1(木) 夏休み一日図書館員

浦添市立図書館とJICA沖縄図書資料室による共同企画として、「夏休み一日図書館員」が行われました。この企画は、図書館業務を通して、子どもたちの図書館への関心を高めると共に、国際協力や異文化理解に関心を持ってもらおうと開催しています。

市内の小学生4人がカウンターに立ち、笑顔で本の貸し出しや返却、本の整理などを行いました。一日図書館員を体験し、「本を1冊ずつ並べるのが大変だった。JICA沖縄では、最初は緊張したけど外国人と英語で会話できて楽しかった。これからも本を大切に読んでいきたい」と1日を笑顔で振り返りました。

